

『いもののかたち 2024』展

図録に掲載する協賛（広告）または賛助のお願い

「いもののかたち」展は、歴史ある日本鑄金家協会会員の日頃の研鑽の成果を展覧し、鑄金造形の魅力を広く社会に発信するものです。日本鑄金家協会は明治期の発足以降、人間国宝や褒章受賞者を数多く輩出し、鑄金はもとより工芸界で重要な役割を果たしてきました。現代においては、伝統工芸のみならず、パブリックアートや現代美術など幅広い分野で活躍する会員らが鑄金特有の表現を発信し続けています。今回は会場を川口市アートギャラリー・アトリアとして、鑄物の町である川口の地域特性を活かして、川口ゆかりの作家の出品や、ワークショップ、講演会、ギャラリーツアーなどの企画を実施します。この機会に、地域社会と連動した鑄金の更なる魅力の創出に繋がりたいと考えています。

就きましては、「いもののかたち展 2024」へのご賛助または、図録に載せる協賛（広告）を募集しております。是非、この機会に鑄金や鑄物の未来に向けた当協会の活動にご賛同いただけますようよろしくお願い申し上げます。

■概要

名 称	「いもののかたち展 2024」
主 催	日本鑄金家協会
会 場	川口市立アートギャラリー・アトリア（展示室 A・B・スタジオ）
会 期	令和 6 年 9 月 1 1 日(水)～ 2 3 日(月) 休館日 9 月 1 7 日(火)
シンポジウム	—鑄物と地域社会(仮)— 日時：令和 6 年 9 月 15 日(日) 14 時～16 時 場所：川口市立アートギャラリーアトリア 登壇者(予定)： <ul style="list-style-type: none">・奥ノ木 信夫 様(川口市長)・赤沼 潔(日本鑄金家協会会長・東京藝術大学名誉教授)・川口市の鑄物産業関係者様 1~2 名・川口市を拠点とする鑄金作家 1~2 名・川口市の文化事業に関わる方 1~2 名
ワークショップ	錫の鑄造体験（対象：子どもたちを中心に川口の市民の方々）など

令和 6 年 7 月 吉日

日本鑄金家協会 会長 赤沼 潔

展覧会の協賛（広告掲載）をお願いします。

1. 協賛内容

協賛金：2万円または3万円

協賛特典：展覧会図録の巻末に協賛者の皆さまの協賛広告を掲載させていただきます。

- ・モノクロ全面広告 3万円
- ・モノクロ半ページ広告 2万円

2. 協賛お申し込み方法

- ・申込書に必要事項をご記入の上、以下連絡先へメールにて送信下さい。
申込書は、日本鑄金家協会ホームページのお知らせから様式ダウンロードができます。
- ・郵送の場合は、申込書をダウンロードして頂き必要事項をご記入の上、ご投函ください。

3. 振込みについて

下記の口座に納付して頂きたく、どうぞよろしくお願い致します。

振込口座： みずほ銀行 東久留米支店

普通預金 No.1145283

口座名義 いものの形展

注：振込手数料が必要となります。

4. 広告サイズと原稿形式について

今回発刊する図録は A4 変形サイズ（縦 210mm × 横 220mm）となります。

○広告サイズ

全面サイズ：縦 180mm × 横 180mm

1/2 サイズ：縦 90mm × 横 180mm

○原稿形式：jpg, png, tiff, pdf のいずれか

*解像度は 300dpi 以上を推奨

5. 広告デザインについて

広告はモノクロとなります。

基本的に貴社のデザインを尊重してそれに沿いますが、図録デザインやページ割り振りの都合上、貴社と協議の上多少デザインが変更される場合がありますので予めご了承ください。

6. 協賛者となれない団体

- ・暴力団（埼玉県暴力団排除条例（平成 23 年埼玉県条例 39 号。以下「暴排条例という。」第 2 条第 1 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

代表者、役員、使用人、従業者、構成員に、暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第 2 条 2 号に規定する暴力団員及び第 3 条 2 号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がいる団体

日本鑄金家協会事務局

申し込み・お問合せメールアドレス：imonoadm@ml.geidai.ac.jp

申込書ダウンロード URL：http://chukinka-kyokai.jp/news

郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 1 2 - 8 東京藝術大学鑄金研究室内

Tel：050-5525-2187

担当：見目

ご不明な点はお問合せください。

賛助または協賛（広告掲載）申込書

ふりがな

会社名・ご芳名

ご住所 〒

電話番号・ファクシミリ

()

()

メールアドレス

寄付金（賛助）または、広告掲載（協賛）に を入れてください。

寄附金（賛助）を希望します（金額)

賛助者一覧に掲載するお名前

ご寄附なされた方々にお名前を「賛助者一覧」に掲載させていただきますので、掲載される名称を上記にご記入下さい。

但し、ご芳名の掲載を希望しない場合は無記名でお願い致します。

領収書宛名記載欄（領収書に記載する宛名をご記入下さい）

広告掲載（協賛）を希望します

モノクロ全面広告

モノクロ 1/2 ページ広告

希望される大きさにチェックを入れて下さい。

広告を掲載される方々のお名前を「協賛者一覧」に掲載させていただきますので、掲載される名称を下記にご記入下さい。

但し、ご芳名の掲載を希望しない場合は無記名でお願い致します。

日本鑄金家協会沿革

- 明治 36 年 (1903) 上野五号館にて「第 1 回鑄金展覧会」を開催。
- 明治 40 年 (1907) 東京鑄金会（鑄金家協会の前身）として岡崎雪声、大島如雲、香取秀真、松橋宗明により創立。
- 明治 41 年 (1908) 「第 2 回鑄金展覧会」を開催。以後毎年開催。
- 大正 15 年 (1926) 日本橋三越本店にて「東京鑄金会展」を開催。以後毎年開催。
- 昭和 21 年 (1946) 東京鑄金会を発展的解消し、「鑄金家協会」として香取秀真、高村豊周、杉田禾堂、香取正彦、内藤春治、丸山不忘、丸谷端堂、会田富康らにより新発足。
- 昭和 22 年 (1947) 日本橋三越本店にて「鑄金家協会第 1 回展」を開催。以後継続的に活動発表を行う。
- 昭和 32 年 (1957) 「鑄金近代史稿」発行。創立 50 周年を記念して、「鑄金名作展」を三越本店にて開催。朝日新聞社の主催、文化財保護委員会（現文化庁）、東京国立博物館の後援、東京藝術大学の協賛を得て重文等の古美術品、物故作家の遺作等、二百余点を陳列。戦後最高の工芸展として内外より好評を博した。
- 昭和 41 年 (1966) 創立 60 周年記念展を三越本店にて開催。文化庁、東京藝術大学の協賛を得て物故作家の遺作及び会員作品を展観。
- 昭和 53 年 (1978) 創立 70 周年記念展を三越本店工芸サロンにて開催。物故作家の遺作及び会員作品を展観。
- 昭和 61 年 (1986) 創立 80 周年記念展を三越本店工芸サロンにて開催。
- 平成 6 年 (1994) 創立 90 周年記念「日本の鑄金－いもののかたち」展'94 を鑄金家協会、(財)日本工芸学会、麻布美術工芸館の主催、文化庁の後援により、東京・麻布美術工芸館及び富山・大和高岡店にて開催。
- 平成 8 年 (1996) 「日本の鑄金－いもののかたち」展'96 を鑄金家協会、(財)日本工芸学会、麻布美術工芸館の主催、文化庁の後援により、東京・麻布美術工芸館にて開催。
- 平成 10 年 (1998) 鑄金家協会を世界へ向けて発信すべく、発展的解消し「日本鑄金家協会」と改称。
- 平成 11 年 (1999) 「日本の鑄金－いもののかたち」展'99 を高岡市美術館、日本鑄金家協会の主催で富山・高岡市美術館、埼玉・埼玉県立近代美術館にて開催。
- 平成 12 年 (2000) 日本鑄金家協会選抜作家展を佐野市、佐野ルネッサンス鑄金展実行委員会、佐野市郷土博物館の主催で栃木・佐野市郷土博物館にて開催。
- 平成 15 年 (2003) 「日本の鑄金－いもののかたち」展'03 を日本鑄金家協会の主催、さいたま市教育委員会、テレビ埼玉後援で埼玉・埼玉県立近代美術館にて開催。同巡回展「日本の鑄金－いもののかたち」展'03－若手作家と高岡周辺の鑄金－を高岡市美術館、日本鑄金家協会の主催、北日本新聞社共催、高岡市商工労働部、高岡市教育委員会、北日本放送、伝統工芸高岡銅器振興協同組合、高岡伝統産業青年会後援で富山・高岡市美術館にて開催。
- 平成 20 年 (2008) 創立 100 周年記念「日本の鑄金－いもののかたち」展'08 を日本鑄金家協会の主催、メタルアートミュージアム光の谷コレクション、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、テレビ埼玉、埼玉新聞社の後援で埼玉県立近代美術館にて開催。
- 平成 23 年 (2011) 「日本の鑄金－いもののかたち」展'11 を日本鑄金家協会の主催で、埼玉県立近代美術館にて開催。
- 平成 27 年 (2015) 「日本の鑄金－いもののかたち」展'15 を日本鑄金家協会の主催で、埼玉県立近代美術館にて開催。
- 平成 30 年 (2018) 「いもののかたち'18 日韓交流展」を日本鑄金家協会の主催、特別協力:駐日韓国大使館 韓国文化院、駐日韓国文化院にて開催。
- 令和 4 年 (2022) 「鑄造 ONLINE」出展（公益社団法人日本鑄造工学会東海支部主催オンラインイベント）